

令和2年7月調査 賃金実態調査報告書

宇城久区域商工会議所・商工会広域連携協議会

宇城久地域ビジネスサポートセンター

(宇治商工会議所・城陽商工会議所・久御山町商工会)

調査の実施要領

1. 調査の目的

宇治市・城陽市・久御山町内に所在する企業の賃金等の実態を把握することにより、労働環境の整備や雇用の確保、労使関係の改善など今後の企業経営の参考に供することを目的に実施した。

2. 調査対象および調査方法

「経営経済動向調査」の付帯調査として、宇治・城陽・久御山区域内に事業所（本店、支店、営業所等）を有する企業1000社に対して郵送による調査を行った。

3. 調査時点および調査時期

- 1) 調査時点：令和2年7月
- 2) 調査時期：①平成31年1月～令和元年12月の年間賃金
②令和元年12月に支払った賃金
③令和元年12月に支払ったパート等の時給

4. 調査の内容

- 1) 社員の賃金（役員、専従者等の家族従業員、パート・アルバイトを除く）
職種、性別、年齢、学歴、勤続年数、年間賃金、基本給および諸手当について
- 2) パート・アルバイトの賃金
職種、性別、年齢、勤続年数、時給について

5. 集計区分

業種別（今回の調査から8分類。昨年までは6分類で“運輸・通信業”と“サービス業”を“その他の業種”から分離した）と従業員規模別（4階層）に区分した。

6. 集計方法

全ての算出方法を単純平均とした。

7. 回答状況

有効回答企業254社（回答率25.4%）であった。

1. 従業員所定内賃金等

①業種別平均賃金

〔表 1-1〕業種別平均賃金

区 分	集計事業所数	集計人数	平均年齢	平均勤続年数	令和元年12月の所定内賃金		年間賃金	
					基本給	諸手当		
全業種平均	男子	235 社	1,411 人	45 歳	13 年	259,927 円	48,821 円	4,518 千円
	女子			44	11	199,733	27,891	3,199
製造業	男子	125	920	45	14	261,888	50,877	4,659
	女子		244	44	11	197,693	29,598	3,277
卸売業	男子	11	56	40	13	298,344	31,875	4,132
	女子		19	46	14	223,419	18,812	3,495
小売業	男子	21	79	46	15	238,017	25,528	3,783
	女子		53	45	12	199,976	9,493	3,118
飲食業	男子	8	10	40	8	271,200	58,700	4,115
	女子		13	54	10	166,000	8,846	2,161
運輸・通信業	男子	12	106	59	14	241,495	101,254	4,420
	女子		16	51	16	203,292	71,125	4,179
建設業	男子	33	158	45	12	274,294	40,591	4,304
	女子		40	44	11	185,874	17,991	2,635
サービス業	男子	22	76	45	13	216,836	22,597	3,290
	女子		47	44	11	213,393	22,514	3,325
その他の業種	男子	3	6	49	11	333,667	62,500	5,359
	女子		4	49	8	276,250	66,667	5,518

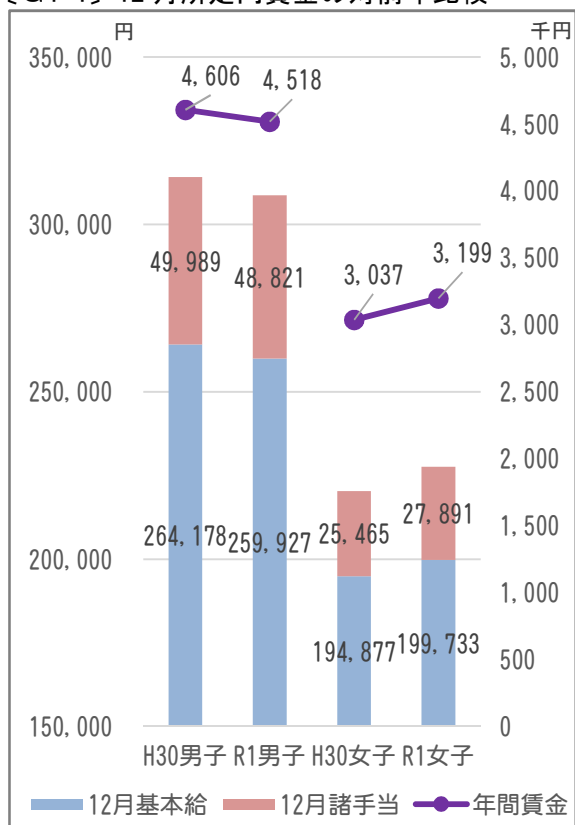
〔G1-1〕12月所定内賃金の対前年比較

令和元年12月に支払われた基本給は、全業種平均で男子259,927円（45才、勤続13年）、女子199,733円（44才、同11年）。諸手当については、業種平均で男子48,821円、女子27,891円であった。

また、平成31年1月～令和元年12月の間に支払われた年間賃金（所定外賃金・賞与含む）は、全業種平均で男子4,518千円、女子3,199千円となっている。

基本給をその他以外の業種別にみると、男子では卸売業298,344円（40才、勤続13年）が最も高く、次いで、飲食業が271,200円（40才、同8年）、建設業274,294円（45才、同12年）、製造業261,888円（45才、同14年）、運輸通信業241,495円（59才、同14年）の順で、女子については卸売業の223,419円（46才、同14年）が最も高くなっている。

前年との比較では、女子は12月の所定内賃金及び残業手当や賞与等も含めた年間賃金ともに増加しているが、男子は両方とも減少で、特に年間賃金は2年連続の減少。



②規模別平均賃金

〔表 2-1〕 規模別平均賃金

区 分	事業 所数	全従業員 平均賃金		従業員 1～19人		従業員 20～49人		従業員 50～99人		従業員 100人以上	
		人	円	人	円	人	円	人	円	人	円
全業種 平均	235	1,411	308,633	619	301,542	459	308,196	123	309,968	210	328,886
		436	228,278	185	209,272	128	222,163	54	256,307	69	266,824
製造業	125	920	312,765	389	300,269	314	311,738	60	311,530	157	344,422
		244	227,403	90	203,826	83	218,608	29	266,942	42	266,324
卸売業	11	56	336,161	28	318,027	13	345,038	15	362,317	xx	xx
		19	253,879	9	223,940	5	302,200	5	259,449	xx	xx
小売業	21	79	265,047	21	228,602	26	284,135	25	272,416	7	278,214
		53	218,895	15	162,694	10	195,875	15	248,050	13	264,269
飲食業	8	10	329,900	8	352,500	2	239,500	xx	xx	xx	xx
		13	173,333	10	172,727	2	186,500	xx	xx	xx	xx
運輸・ 通信業	12	106	312,687	39	329,836	11	323,612	20	316,162	36	288,840
		16	274,574	8	270,431	4	318,430	xx	xx	4	239,004
建設業	33	158	319,264	84	323,430	74	314,534	xx	xx	xx	xx
		40	205,161	23	182,777	17	232,812	xx	xx	xx	xx
サー ビス業	22	76	247,048	44	247,379	19	232,458	3	276,096	10	264,600
		47	244,921	25	250,937	7	188,976	5	216,258	10	283,375
その 他の 業種	3	6	401,167	6	401,167	xx	xx	xx	xx	xx	xx
		4	326,250	4	326,250	xx	xx	xx	xx	xx	xx

(注1) 表示されている規模別平均賃金は所定内賃金（基本給に諸手当を加えたもの）。

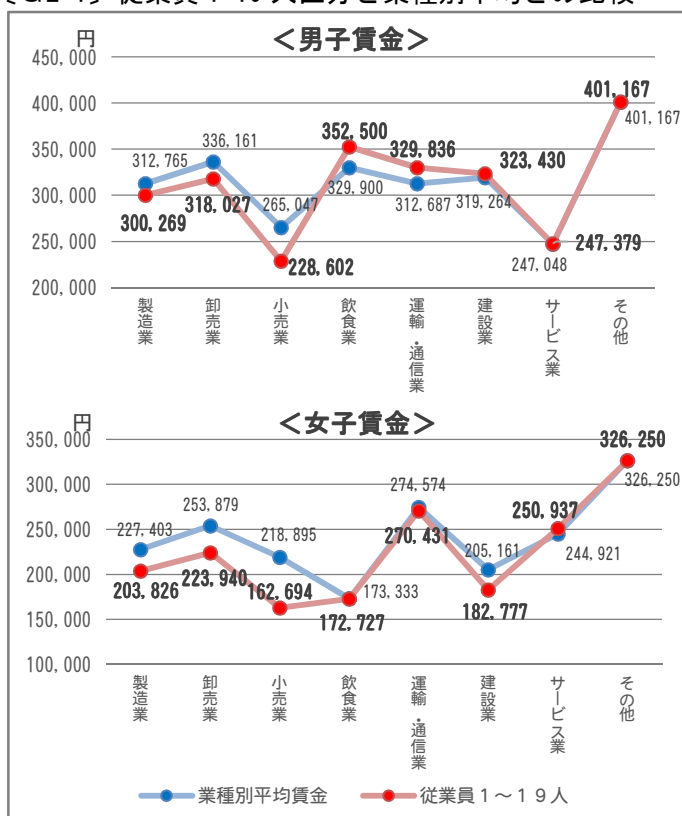
(注2) データが1名以下の区分については“××”を表示している。

〔G2-1〕 従業員1-19人区分と業種別平均との比較

令和元年12月に支払われた所定内賃金（基本給に諸手当を加えたもの）の規模別平均賃金をみると“全従業員平均賃金”を“従業員1～19人”区分の賃金が上回ったのは、男子で飲食業、運輸・通信業、建設業、サービス業の4業種に対し、女子はサービス業のみとなっている。

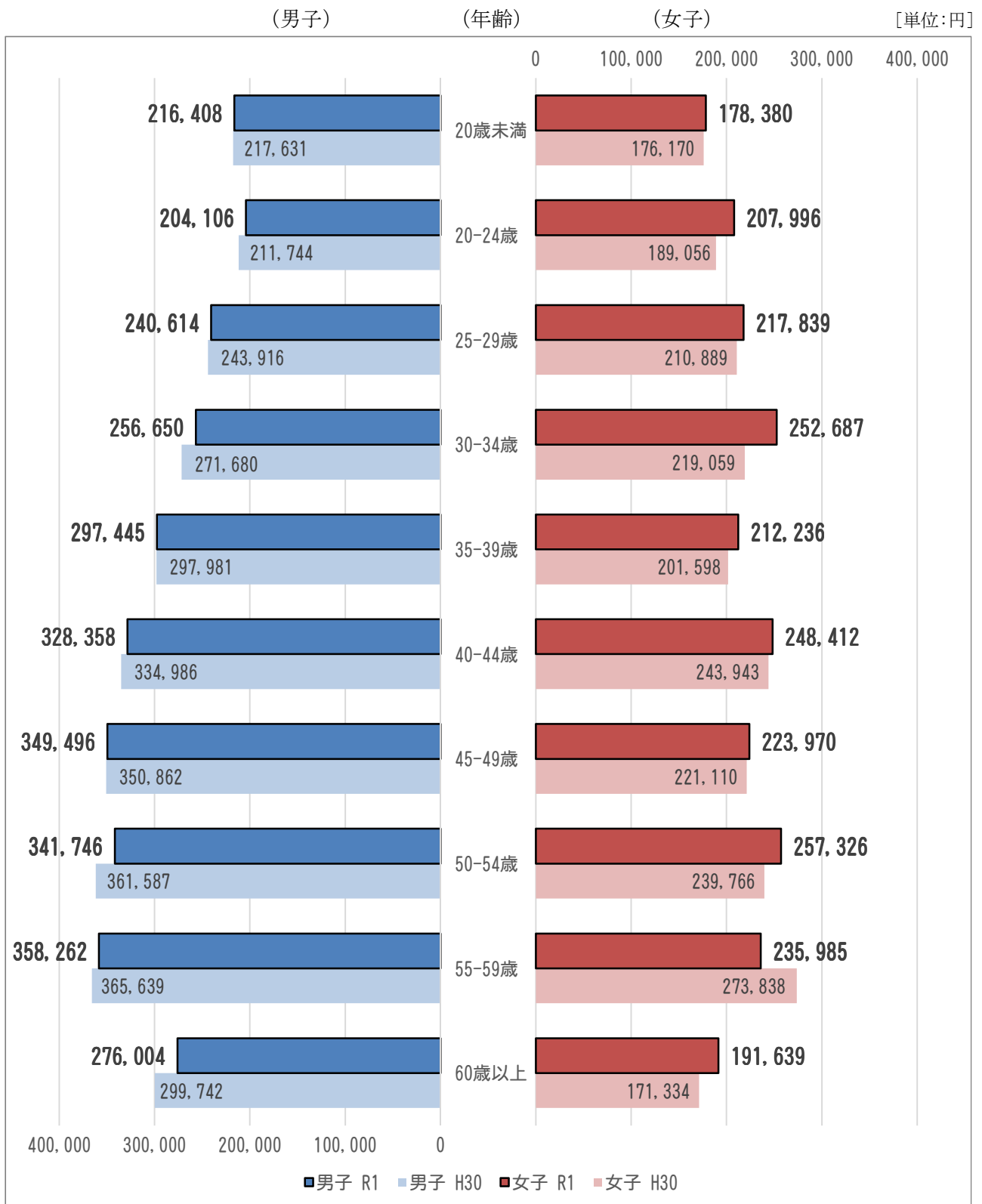
“従業員20～49人”の区分の賃金では、“全従業員平均賃金”を男女ともに上回ったのは、卸売業と運輸・通信業の2業種であった。

一方、規模別平均賃金を業種別にみると“全業種平均”の賃金を“従業員1～19人”区分が上回ったのは、男子では、卸売業、飲食業、運輸・通信業、建設業、その他の5業種。女子では、卸売業、運輸・通信業、サービス業、その他の4業種であった、また製造業と小売業は男女とも全業種平均を下回る結果となっている。



③年齢別平均賃金

〔G3-1〕年齢別平均賃金



(注) 表示されている年齢別平均賃金は、所定内賃金（基本給に諸手当を加えたもの）。

令和元年12月に支払われた所定内賃金を年齢別で見ると、男子はほぼ年齢に比例した平均賃金の増加がみられ年功序列で推移していることがわかる。また前年データと比較すると、男子は全ての年齢層で前年を下回っているのに対し、女子は“55-59歳”の区分以外で前年を上回る結果となった。

④学歴別平均賃金

〔表 4-1〕学歴別平均賃金（年齢区分別）

区 分		全学歴平均		高卒		短大・専門卒		大学・大学院卒		その他	
		人	円	人	円	人	円	人	円	人	円
20歳未満	男子	8	216,408	8	216,408	xx	xx	xx	xx	xx	xx
	女子	2	178,380	2	178,380	xx	xx	xx	xx	xx	xx
20～29歳	男子	143	227,083	67	221,626	24	231,090	50	231,916	2	241,000
	女子	70	214,042	27	213,466	23	215,992	20	212,578	xx	xx
30～39歳	男子	295	278,776	142	282,413	48	266,386	98	279,708	7	276,896
	女子	80	233,473	28	220,162	24	244,867	27	241,351	xx	xx
40～49歳	男子	447	340,274	224	326,668	78	347,303	121	360,821	24	340,822
	女子	122	234,788	54	237,013	44	225,230	22	248,992	2	228,750
50～59歳	男子	312	349,157	187	339,442	31	376,909	71	367,555	23	333,944
	女子	98	247,309	58	236,046	28	240,529	11	316,525	xx	xx
60歳以上	男子	171	276,004	90	287,790	8	266,928	55	271,269	18	235,574
	女子	54	191,639	31	169,028	15	257,766	5	166,993	3	135,727

（注1）表示されている学歴別平均賃金は、所定内賃金（基本給に諸手当を加えたもの）。

（注2）データが1名以下の区分については“××”を表示している。

〔表 4-2〕学歴別平均賃金（勤続年数区分別）

区 分		全学歴平均		高卒		短大・専門卒		大学・大学院卒		その他	
		人	円	人	円	人	円	人	円	人	円
10年未満	男子	596	263,329	289	258,667	82	261,034	204	271,844	21	253,730
	女子	217	210,145	87	204,152	70	205,980	57	225,336	3	192,500
10～19年	男子	403	327,109	213	311,560	65	335,992	110	358,778	15	277,167
	女子	137	249,765	72	240,563	43	252,944	20	279,224	2	218,090
20～29年	男子	224	369,729	128	366,267	27	384,872	52	367,215	17	379,432
	女子	42	284,998	23	269,358	15	311,380	3	294,654	xx	xx
30～39年	男子	117	374,368	70	374,825	11	416,553	21	350,183	15	375,156
	女子	16	232,148	8	211,146	5	262,038	3	238,333	xx	xx
40年以上	男子	29	246,344	14	281,874	2	218,500	7	257,571	6	159,627
	女子	11	103,000	9	107,556	xx	xx	xx	xx	xx	xx

（注1）表示されている学歴別平均賃金は、所定内賃金（基本給に諸手当を加えたもの）。

（注2）データが1名以下の区分については“××”を表示している。

⑤職種別平均賃金

〔表 5-1〕 職種別平均賃金

区 分	集計 事業所数	集計 人数	平均 年齢	平均 勤続年数	令和元年12月の所定内賃金		年間賃金	
					基本給	諸手当		
全業種 平均	男子	235 社	1,411 人	45 歳	13 年	259,927 円	48,821 円	4,518 千円
	女子		436	44	11	199,733	27,891	3,199
事務職	男子	—	131	49	17	304,888	45,109	5,064
	女子	—	217	46	12	205,088	26,020	3,253
営業職	男子	—	243	47	14	287,987	64,111	4,976
	女子	—	31	43	14	224,121	52,241	3,784
現場職	男子	—	1,037	44	13	247,530	45,450	4,340
	女子	—	188	42	10	190,060	27,997	3,040
管理職	男子	—	274	50	21	355,616	76,103	6,021
	女子	—	54	51	18	236,753	57,889	4,185

基本給を職種別にみると、男子では事務職が304,888円（49才、勤続17年）と最も高く、女子では営業職が224,121円（43才、同14年）と最も高かった。諸手当が最も高い職種は、男女とも営業職で男子が64,111円、女子が52,241円となっている。

また、同じ管理職でも基本給、諸手当、年間賃金の全ての項目で、男女差が大きいことがわかる。

⑥地域別平均賃金

〔表 6-1〕 地域別平均賃金

区 分	集計 事業所数	集計 人数	平均 年齢	平均 勤続年数	令和元年12月の所定内賃金		年間賃金	
					基本給	諸手当		
全業種 平均	男子	235 社	1,411 人	45 歳	13 年	259,927 円	48,821 円	4,518 千円
	女子		436	44	11	199,733	27,891	3,199
宇治市	男子	119	687	46	13	259,438	53,518	4,547
	女子		241	43	11	199,227	28,478	3,159
城陽市	男子	69	421	44	13	246,249	42,653	4,311
	女子		141	45	12	201,983	26,905	3,147
久御山町	男子	47	303	46	14	280,523	46,058	4,670
	女子		54	47	11	195,816	33,262	3,514

基本給を地域別にみると、男子は久御山町が280,523円（46才、勤続14年）と最も高く、女子は城陽市が201,983円（45才、同12年）と最も高かった。また諸手当をみると、男子では宇治市が53,518円と最も高く、女子では久御山町が33,262円と最も高い結果となった。

年間賃金を地域別にみると、久御山町が男子（4,670千円）・女子（3,514千円）とも最も高く、三市町で唯一、男女とも全業種平均の数値を上回る結果となった。

2. パート社員等時給額

①業種別パート社員等平均時給額

〔表 7-1〕 業種別パート社員等平均時給額

区 分	事業所数		パート数		平均時給額		対前年 時給額 伸び率	最高時給額
	事業所数	パート数	R 1	H 3 0	R 1			
全業種平均	119 社	534 人	1,012 円	973 円	4.00 %	— 円		
製造業	69	286	1,035	972	6.48	3,500		
卸売業	6	39	960	957	0.03	1,120		
小売業	9	44	969	932	3.97	1,200		
飲食業	9	36	955	939	1.70	1,100		
運輸・通信業	6	31	994	—	—	1,538		
建設業	9	26	1,120	1,073	4.38	2,250		
サービス業	10	71	972	—	—	1,300		
その他の業種	XX	XX	XX	—	—	XX		

(注1) 令和元年10月1日以降の京都府の最低賃金(時間額、産業別最低賃金が定められている業種を除く)は909円。

(注2) データが1名以下の区分については“××”を表示している。

令和元年中に支払われたパート社員等の平均時給額は、昨年から4%増加し全業種平均で1,012円と初めて千円の大台を超えた。

業種別の平均時給額をみると、建設業の1,073円が最も高く、次いで製造業が1,035円、運輸・通信業が994円、サービス業が972円、小売業が969円、卸売業が960円となっており、最も低い飲食業でも955円と、最低賃金よりも50円ほど高い水準となっている。

また、業種別の対前年の時給額伸び率をみると、製造業が+6.48%、建設業が+4.38%、小売業が+3.97%と、3つの業種で大きな伸びを見せている。特に建設業は、前年調査時の伸び率が▲17%であったため、大きな回復を見せている。

②地域別パート社員等平均時給額

〔表 8-1〕 地域別パート社員等平均時給額

区 分	事業所数		パート数		平均時給額		対前年 時給額 伸び率	最高時給額
	事業所数	パート数	R 1	H 3 0	R 1			
全業種平均	119 社	534 人	1,012 円	973 円	4.00 %	— 円		
宇治市	68	311	990	950	4.21	3,500		
城陽市	31	166	1,034	1,004	2.99	2,403		
久御山町	20	57	1,067	992	7.56	2,500		

地域別でみると、久御山町の平均時給額が最も高く1,067円、次いで城陽市が1,034円となっており、最も低い宇治市は990円と全業種平均の数値を下回る結果となった。

また、対前年の時給額伸び率をみても、久御山町が+7.56%と最も高い結果となった。